

注目の新設校インタビュー

お話 開智望中等教育学校

(設置認可申請予定)

開智学園理事長 青木 徹 先生



編集部注 開智望中等教育学校は国際バカロレアの教育を実施します。インタビューには専門用語も出てきます。最終ページの解説をご覧ください。

編集部 よろしくお願いたします。開智学園といえば、中学受験界ではさいたま市岩槻区の開智中学校が有名で、埼玉県加須市の開智未来中学校の成長や、旧日本橋女学館を合併、大幅にリニューアルした開智日本橋学園中学校の人気も注目されています。来春はいよいよ開智望中等教育学校が開校しますね。

青木 2015年に、茨城県のつくばみらい市に、地元からのお誘いもあって、開智望小学校を開校しました。来春開校するのは開智望中等教育学校で、小学校に隣接しての開校になります。

編集部 開智学園の他の中学や高校と教育内容等に違いがあるのでしょうか。

青木 学園全体では、「心豊かな創造力・発信力を持ち、国際社会に貢献するリーダー、スペシャリストの育成」が共通する建学の精神ですが、実際の教育活動やカリキュラム、具体的な取り組みは各校で様々で、同じではありません。今回の中等教育学校は、開智望小学校とともに、12年間一貫教育を実施する前提で開校します。

編集部 小学校は小学校、中高は中高、といった、切り分けられた考え方ではないのですね。

青木 12年間を国際バカロレア(IB)のプログラムに則ってカリキュラムを組み立てていきます。

編集部 IBは、世界的に通用する大学入学資格認定が与えられ、海外大学進学に大きな役割を果たす教育プログラムですね。

青木 IBは、何も海外大学進学だけが目的ではありません。世界の複雑さを理解して、それに対処できる生徒に育成するもので、ひとり一人の生徒に、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身

に付けさせる、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムです。

編集部 日本の従来からの教育とはかなり違うのでしょうか。

青木 IBは大きく分けてPYP(小学校相当)、MYP(中高相当)、DP(高校相当、大学入学資格)の3つのプログラムがあって、PYPとMYPは、基本的にIBの理念に基づく教育内容を、各国の教育プログラムの中に織り込んで実施します。ですから、学習指導要領の内容に、学校独自の授業として、IBの内容をプラスする形です。

編集部 私立の中高一貫校だと、学習指導要領の内容に、各校独自の教育プログラムを上乗せする学校が多いのですが、今回の場合、それがIBだと考えればよいわけですね。

青木 はい。一方、DPは学習指導要領とはかなり違います。日本では大学入試センター試験、2021年度入試からは大学入学共通テストに変わりますが、これに代表されるように各教科の幅広い知識を求める傾向が強いのに対して、DPでは選択した専門分野については深く学ぶものの、むしろ学ぶスキル、能力や姿勢を評価する面が強いですね。独特の科目もあります。

編集部 DPを受講すれば自動的に海外大学に進学できるのですか。

青木 DPは最後に世界統一の試験があります。合格するとDP資格が与えられ、これが海外大学入学資格になります。成績は45点満点のスコアで評価され、難関大学では高いスコアが求められます。

編集部 生徒全員がDP資格を目指すのでしょうか。

青木 いいえ、おそらくDP資格の取得をめざす生徒は一部になると思います。海外大学は留学費用のハードルも高いですし、DP資格で入学できる国内大学は増えていますが、医学部進学などを考えるのなら普通に国内の教育課程で大学受験を目指す方が有利な面もあります。12歳の段階では、進路の希望もまだ決まっていない生徒が多数でしょう。ですから、DPに入る段階で通常の日本の大学受験に向かうコースも設置します。こちらは仮称でNDPと言っています。

編集部 学習内容の流れをお願いします。

青木 小学1年生から中等6年生(注 中等教育学校は中学と高校を合わせた学校で、6年生は高3に相当、以下同様)の12年間を3つの時期に分けます。まず小学1年～小学5年の5年間はPYP、小学6年～中等4年(高1相当)までの5年間はMYP、中等5・6年(高2・3相当)でDPもしくはNDPを選択して行うことにしています。中高6年間の学習内容のうち、高1まで必修教科を可能な範囲で多く学び、高2・高3は大学進学教育という考え方を前提に、生徒ひとり一人の志望大学への進学に合わせて、卒業に必要な科目を学びます。

編集部 中等5年に進級するときにDP資格の取得をめざすのか、日本の大学受験に向かうNDPのコースにするのかを選択するわけですね。

青木 NDPでは国立理系・医系、私大理系、国立文系、私立文系の4コースを設置する予定です。これらはDPの取得は考えませんが、志望大学合格に向けてがんばっていきます。

編集部 中高一貫校の進学校では、中高6年間の学習内容を5年間で学び、最後の1年は大学入試対策に充てる、というカリキュラムがよく見受けられますが、そのような考え方ですか。

青木 各科目の位置づけは違いますが、それに近い運用です。ただ、本校はあくまでもIBの学校ですから、NDPの中等5年以降も大学受験対策だけに絞るつもりはありません。IB独自の科目のうち、EE(課題論文)とTOK(知の理論)は、総合的な探究の時間として実施します。日本語でも可能なように学校設定科目とします。

編集部 他の日本の高校でも、こうした学びが行われているのでしょうか。

青木 研究や論文執筆に取り組んでいる高校は珍しくありませんが、EEのレベルを実践できている学校はあまり多くないでしょう。TOKは日本の教育課程にはない独特の科目です。「認知」ということや共有された「知識の領域」の間のつながりを総合的に結びつけることで、生徒ひとり一人が自分なりのものの見方や、他人との違いを自覚し「知識をどう認識するか」という認知的な観点で論文を書いていきます。

編集部 ずいぶん高度ですね。高校生にできるのでしょうか。

青木 だからこそPYPやMYPで、しっかりした探究の姿勢を身に付ける必要があります。日本人も世界の人々と、手を携えてプロジェクトに取り組むようになってきましたから、このような学びは大切なことです。

編集部 開智望中等教育学校でも探究が大きな柱になるのですね。

青木 興味関心があり、楽しければ生徒たちは時間を忘れてこれらにじっくりと取り組みます。それは開智望小学校で実証済みです。迷うと互いに意見を出しあい、学びあって先に進みます。こうして探究が深まっていきます。探究のまとめとしてのレポート作成、研究発表会も行っています。そしてMYPの集大成としての論文作成も行います。

編集部 探究は大切ですが、好きなことばかりに没頭して、基礎基本がおろそかになるようなことはないのでしょいか。

青木 授業では、いわゆるドリル的なトレーニングにも取り組みます。探究を進めるうちに、基礎基本の大切さに気付きますから、生徒たちも自分から学習を進めるようになります。ただ、ある程度の個人差は出るでしょう。個別課題や、長期休暇には講習なども実施します。

編集部 先生方が参加する講習などを指示するのですか。

青木 できるだけ教師は学習を支援するという立場を大切に、学習が遅れた生徒に対してはクリニックでありたいと思っています。病気と同じで、調子が良いときは介入しません。調子が悪くなったら診察して、良くなるように、個別課題や参加した方がよい講習を勧める、といった投薬治療を行います。

それでも改善しなければ指名補習という入院治療ですね。

編集部 興味関心や探究での必要性を土台に、まずは自分で取り組む、でもフォローは十分に、というわけですね。今度は生活についてうかがいます。1日の生活時間はどのようになりますか。

青木 朝8時15分の朝読書から始まり、だいたい3時半くらいまでですね。週35時間授業で、週1日だけ7時間目の日があって、あとは6時間目までです。



【開智望中等教育学校校舎完成予想図】

編集部 放課後の部活動はどのようになりますか。

青木 初年度は人数も少ないでしょうから、生徒たちがやりたいと言ってきたことをなるべく実現したいと思います。体育祭や文化祭などの行事は、教師があれこれ指図するのではなく、生徒たち自身が創っていく取り組みにしていきます。

編集部 生徒募集についてうかがいます。来年度の新中1の募集はどのような予定でしょうか。

青木 学校自体もまだ新しい学校ですし、特に現在の6年生は、小学校開校時に他校から転入して2年生からスタートした学年ですから、来年度は中等の新1年生を編入として募集します。

編集部 先ほど、小学校相当のPYPは小1～小5で、中高相当のMYPは小6～高1で、というお話でしたが、開智望小学校の6年生は、もう中学校内容の学習を進めているのですか。

青木 英語はある程度学習しています。他の教科は、少し学習している内容もありますが、進度よりも深い学びを重視していますから、中1内容の多くは来

年新入生とともに学びます。ただ、英語力は違いがありますから、外部からの新入生は、1年間は内部進学生とは別授業、2年あるいは3年目から混成にします。進度差でついていけない、といった心配はありません。そのようにならないような対応をする予定です。

編集部 外部からの募集はどのくらいの人数になるのでしょうか。

青木 多くても30～40人程度を想定していますが、新しい学校で定員に余裕がありますので、本校の教育を理解し、ご賛同いただけるご家庭なら、人数にはこだわりません。

編集部 編入試験はどのような形になるのでしょうか。

青木 編入ですから、あまり早めに発表するものではありませんが、12月に第一志望の編入試験を実施、1・2月にも千葉県や埼玉県、あるいは東京都生向きの編入試験を設定するつもりです。科目や出題は、通常の中学入試の内容に近いものになると思います。

編集部 東京からだると遠い印象がありますが。

青木 そんなことはありません。北千住からつくばエクスプレスで守谷まで30分かかりませんし、守谷からは常総線で1駅です。駅隣接の学校ですから、小学校でも都内在住のご家庭が増えています。秋葉原からでも40分台ですから早いですよ。

編集部 最後に受験生、保護者の皆さんにメッセージをお願いします。

青木 まず見学して授業を見てください。生徒の様子を見ると通いたくなりますよ。びっくりするくらい楽しく学んでいます。情報を自分で見つけ、他の子どもたちとのやり取りの中で学習内容の概念づけができて、主体的に課題に取り組むようになります。私たちはこうした学びを中等教育学校の6年間でも実現していきます。ぜひ見学して、期待していただきたいと思います。

編集部 ありがとうございます。

開智望中等教育学校(設置認可申請予定)

・交通案内 関東鉄道常総線新守谷駅(つくばエクスプレスとの乗換駅守谷の次の駅)

見学等はウェブサイトをご覧ください。 <http://www.kaichigakuen.ed.jp/nozomi/index.html>

国際バカロレア (IB) とは

国際バカロレア (International Baccalaureate 以下 IB) は、外交官や国際機関の職員の子弟に向けて、世界標準の大学入学資格認証と、そのための教育プログラムとして開発されたもので、インターナショナルスクールでは以前から実施されています。現在は大学入学だけでなく、初等中等教育や、高卒で就職する生徒向けのキャリア形成のプログラムもあります。IBの大学入学資格は、世界の多くの国々で幅広く受け入れられていて、日本でもIBのスコアを利用する大学が増えています。

1. IBの学習者像

より良い平和な世界を築くために貢献する人材の育成を目的としていて、10のめざすべき姿(学習者像)が定められています。探究する人 (Inquirers) / 心を開く人 (Open-Minded) / 知識のある人 (Knowledgeable) / 思いやりのある人 (Caring) / 考える人 (Thinkers) / 挑戦する人 (Risk Takers) / コミュニケーションができる人 (Communicators) / バランスのとれた人 (Balanced) / 信念をもつ人 (Principled) / 振り返りができる人 (Reflective)

2. PYP (Primary Years Programme)

幼稚園・小学校のプログラムで3歳~12歳が対象で、導入している幼稚園もあります。探究する人としての基礎教育や、バランスがとれた人間に成長するために基礎学力を身に付けるものです。実施国の教育課程が土台で、日本では学習指導要領の内容にIBの教育内容を付加します。日本語で実施が可能ですが、ぐんま国際アカデミーのように英語で実施する学校もあります。

3. MYP (Middle Years Programme)

中学と高校初期のプログラムで11歳~16歳が対象です。教科学習と並行して、社会の現状や自分と社会とのつながりを分析、理解し、深く考えたり挑戦する人間に成長することをめざします。実施国の教育課程が土台で、5年間のプログラムですが4年間でも可能です。このため、日本では中1~高1で実施する学校が多く見られます。日本語で実施が可能ですが、英語や、科目によって日本語・英語を使い分ける学校もあります。

4. DP (Diploma Programme)

高校後期課程の大学入学準備のプログラム。16歳~19歳が対象で2年間の課程です。自分の個性や強みを明確にして、進路を見極められる人間に成長することをめざします。言語、社会、数学などの6つの教科群から上級 (Higher Level) または標準 (Standard Level) の1つの教科を選択、さらに独自

科目の課題論文 (Extended Essay, EE、個人研究で日本語なら8,000字以上の論文を執筆)、知の理論 (Theory Of Knowledge, TOK、知識の本質を考え、知識の構築について探究する)、創造性・活動・奉仕 (Creativity/Activity/Service, CAS、芸術や身体的活動、ボランティアなどの取組) を履修します。一部に英語・フランス語・スペイン語のどれかに限定される科目もあり、日本では英語が一般的です。

5. DP資格

DPは世界統一の卒業試験が年2回実施され、45点満点のスコアで成績が決まります。24点以上で資格取得、23点未満は不合格です。DP資格は海外大学の入学資格になりますが、難関大学になるほど、ギリギリの24点では認められず、高スコアが要求されます。独自科目の成績が悪くても他の教科がよければ日本の高校卒業資格が得られるため、DP資格なし・高校は卒業、というケースもあり、より高スコアやDP資格取得をめざして高校卒業後にDP資格に再挑戦する生徒もいます。

6. 首都圏のIB認定校・予定校(幼稚園・インターナショナルスクールを除く)

東京都：開智日本橋学園中学校・高校 (MYP・DP)、玉川学園中学部・高等部 (MYP・DP)、東京学芸大学国際中等教育学校 (MYP・DP)、都立国際高校 (DP)、武蔵野大学附属千代田高等学院 (DP)、神奈川県：法政大学国際高校 (DP)、県立横浜国際高校 (DP)、聖ヨゼフ学園小学校・中学校・高校 (PYP・MYP 予定・学年進行でDP認定見込)、三浦学苑高校 (学年進行でDP認定見込)、埼玉県：昌平中学校・高校 (MYP・学年進行でDP認定見込)、市立大宮国際中等教育学校 (MYP・学年進行でDP認定見込)、筑波大学附属坂戸高校 (DP)、茨城県：開智望小学校・中等教育学校 (PYP・MYP・学年進行でDP認定見込)、茗溪学園高校 (DP)、群馬県：ぐんま国際アカデミー初等部・中等部・高等部 (PYP・MYP・DP)